

## 会 議 録

会議の名称	第46回茨木市こども育成支援会議
開催日時	令和4年2月10日(木) 午後6時01分～午後6時37分
開催場所	オンライン、市役所本館6階1会議室
出席委員	大高委員、亀山委員、久保委員、西川委員、西之辻委員、濱園委員、福田委員、堀田委員、前田委員、三角委員、宮島委員、宗清委員、脇條委員 (五十音順)
欠席委員	大森委員、加藤委員、下田平委員、棚田委員、中村委員、畑瀬委員、森委員 (五十音順)
事務局	山寄こども育成部長、中路保育幼稚園総務課長、白波瀬こども政策課課長代理兼政策係長、西川保育幼稚園総務課管理係長
案件	■会議案件 (1) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員(確認)について (2) 実施状況報告書の事業評価シートの様式変更について (3) 答申案(案)の作成について ■その他
配付資料	資料1 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員(確認) 資料2 次世代育成支援行動計画(第4期)実施状況報告書の事業評価シートの様式変更について

発 言 者	発 言 内 容
こども政策課 白波瀬課長代 理兼政策係長	<p>それでは、ご案内の時間となりましたので、茨木市こども育成支援会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、大変ご多用のところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>なお、本日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、会議の開催方法をオンラインによる開催とさせていただいております。ご理解の程よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の委員の出欠状況について報告させていただきます。</p> <p>市民委員の棚田委員、加藤委員、森委員、下田平委員、畑瀬委員、大森委員につきましては、所用のため事前に欠席の連絡を頂いております。中村委員につきましては欠席の連絡は現在いただいておりますので、この後遅参されて参加いただけるものと考えております。</p> <p>つきましては、本日 20 人の委員のうち、13 人の委員の方に出席をいただいております。また、本日は神戸総合速記株式会社が会議録作成のため、この会議に同席しております。</p> <p>それでは、茨木市こども育成支援会議条例第 6 条第 1 項の規定により、会議の議事進行を福田会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
福田会長	<p>どうぞよろしく願いします。皆さん、こんばんは。</p> <p>それでは、本日の会議を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず初めに、本日の会議でございますが、先程ご報告がありましたように半数以上の委員に出席していただいておりますので、こども育成支援会議条例第 6 条第 2 項により、成立していることを確認しておきたいと思っております。</p> <p>なお、審議の内容につきましては、これまでどおり、発言者のお名前をつけて公表させていただきたいと考えておりますが、この件につきましてご異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、会議録作成の関係上、どなたが発言されたのか分かるように「〇〇です」と発言者名をおっしゃってから発言をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いします。</p> <p>それでは、会議案件の 1 つ目でございます。「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員（確認）」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。</p>
保育幼稚園総 務課 西川管理係長	<p>保育幼稚園総務課管理係長の西川と申します。</p> <p>それでは、私から 1 つ目の案件について説明させていただきます。</p> <p>まず、この「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員（確認）」の説明に入る前に、今年度、初めてこども育成支援会議に参加される委員もいらっしゃることから、当会議の子ども・子育て支援法上の役割等について簡単に説</p>

明させていただきます。

資料1 ページ目をご覧ください。

茨木市子ども育成支援会議は子ども・子育て支援法第77条第1項に基づき、茨木市子ども育成支援会議条例により設置されている会議となります。

2 ページ目と3 ページ目に法令を載せておりますので、併せてご覧ください。

当会議の所掌事務としましては4つございます。1 ページ目の1つ目と2つ目は、市町村が特定教育・保育施設、または特定地域型保育事業の確認を行い、利用定員を定める際に審議を行うこととなっております。

3つ目は、市町村が市町村子ども・子育て支援事業計画を定め、または変更しようとする際に審議を行うこととなっております。

4つ目は、市町村における子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項及び当該施策の実施状況を調査審議することとなっております。

今回、私からは1つ目の役割に関係し、令和3年度末に利用定員を定める、または変更しようとしている特例教育・保育施設の利用定員について説明させていただきますので、ご意見等ございましたらおっしゃっていただければと思います。

それでは4 ページをご覧ください。

こちらの資料につきましては、ブロックごとと市域全体の令和3年4月と令和4年4月の利用定員及びその差を、認定こども園別、3号認定こどもについては0歳児と1・2歳児別に表しています。中央ブロックと北ブロックについては変更はございません。東ブロックでは1号認定で90人の増となっており、ブロックとしても90人の増となっております。西ブロックでは1号定員で15人の減となっており、ブロックとしても15人の減となっております。南ブロックでは0歳児が3人の増、1・2歳児が39人の増、3号認定は計42人の増、2号認定で68人の増、1号認定では230人の増となっており、ブロック合計で340人の増となっております。市域全体としましては、0歳児が3人、1・2歳児39人、3号認定では計42人の増、2号認定では68人の増、1号認定では305人の増となっており、合計で415人の増となっております。

次に5 ページ目をご覧ください。

5 ページからは先ほどの資料4 ページの内訳として、施設別の令和3年4月と令和4年4月の定員をブロックごとに表したものです。定員に変更があった施設は太枠で囲っております。

ご覧の5 ページの中央ブロックについては変更はございません。

6 ページですが、東ブロックについては、茨木東邦幼稚園が4月から、子ども・子育て支援新制度に移行するため確認の申請がございまして、新たに利用定員を設定する形となっております。

7 ページをご覧ください。

西ブロックについては、日本基督教団茨木教会附属めぐみ幼稚園の定員設定の変更によって定員が減少しております。

	<p>8ページをご覧ください。</p> <p>南ブロックについては、天王学園幼稚園が4月から幼稚園型認定こども園として、子ども・子育て支援新制度に移行するための確認の申請がございまして、新たに利用定員を増加、設定するものです。また、玉島保育園の園舎建て替えにより定員が増加しております。</p> <p>次に9ページをご覧ください。</p> <p>9ページの北ブロックについては変更はございません。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p>
福田会長	<p>事務局どうもありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等あればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>三角委員、どうぞ。</p>
三角委員	<p>三角です。よろしくお願いたします。</p> <p>すみません。茨木東邦幼稚園は、現在は休園してるのですか。</p>
保育幼稚園総務課 西川管理係長	<p>いえ、今は、子ども・子育て支援法上の確認を受けずに、私学助成の府の補助金を受けて運営している幼稚園です。</p>
三角委員	<p>令和3年4月がゼロになっているのですが。</p>
保育幼稚園総務課 西川管理係長	<p>ゼロというのは、子ども・子育て支援法上の確認の利用定員です。今は確認を受けていない施設ですので、次の4月から確認を受けて利用定員を設定することになります。</p>
三角委員	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>
保育幼稚園総務課 西川管理係長	<p>ありがとうございます。</p>
福田会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>他いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>(質問者なし)</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、次の案件に移っていきたいと思います。会議の案件2つ目でございます。「実施状況報告書の事業評価シートの様式変更」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>
こども政策課 白波瀬課長代理兼政策係長	<p>こども政策課課長代理兼政策係長の白波瀬と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>案件の2件目、「実施状況報告書の事業評価シートの様式変更」について、説明させていただきます。</p> <p>まず、次世代育成支援行動計画に位置づけております、各取組、各事業につき</p>

ましては、総合計画、環境基本計画等と同様に、PDCAサイクルによる進行管理を行っておりまして、毎年各取組の前年度の実績を取りまとめました実施状況報告書を委員の皆様にお示しさせていただきまして、進捗状況をご審議いただいております。

今回の案件につきましては、昨年10月、11月に開催しました、44回、45回のこども育成支援会議でいただきました、ご意見、ご指摘等を踏まえまして、来年度以降のこども育成支援会議に向け、実施状況報告書の事業評価シートの構成等を変更させていただこうというものです。

それでは、委員の皆様へ先日送付させていただきました、A4横の「資料2」をご覧くださいませでしょうか。

まず、資料の上の方にあります、「変更点(案)」という枠内にお示しさせていただいておりますとおり、変更点は、主に6点になります。

では、その下の資料左側の「変更前」をご覧くださいませでしょうか。

まず、一つ目の変更点になりますが、施策内容欄の削除となります。毎年各取組、各事業の進捗状況についてご審議いただいているところでありますが、各事業の内容につきましては、その下の「計画【Plan】/実施事業」という枠内に事業内容欄を設けておりまして、施策内容欄と記載内容が重複することもございますので、施策内容欄につきましては削除させていただこうと考えております。

続きまして、2つ目の変更点ですが、第3期計画における評価と課題を踏まえた方向性欄を削除するものになります。これにつきましては、令和2年度は前期計画から第4期計画への移行年度ということで、第3期計画における評価と課題を踏まえた方向性の欄を設けておりましたが、次年度につきましては移行年度ではありませんので、こちらの欄を削除させていただくものになります。

それでは、資料の右側「変更後」の枠内をご覧ください。変更点の3つ目になりますが、「できたこと」「できなかったこと」を「実施【Do】」欄に移行するものになります。「できたこと」「できなかったこと」は、事業を実施した結果を記載する項目になりますので、現在「評価【Check】」欄に入っておりますが、これを「実施【Do】」欄に移行するものになります。

4番目の変更点になります。現在、目標値につきましては、第4期計画を策定した時点の目標値を表記させていただいておりますところですが、計画策定後の社会情勢等の変化によって、策定時点の目標と、直近の実績等が乖離することもありますので、次年度からは策定時の目標に加えまして、直近の実績を踏まえた目標値をあわせてお示しさせていただこうと考えております。

5点目になります。現在、一括項目となっております、実施、評価、改善という項目を、次回からはそれぞれ項目立てをさせていただいて、表を見やすく整理させていただこうと考えております。

最後、6点目になりますが、現在A、B、Cで事業を評価しておりますが、その評価の理由を明確化するために、「分析・評価/【Check】」欄のところに「評価の理由・根拠」欄を新たに設けさせていただこうと考えております。

	<p>主な変更点は、以上の6点になります。</p> <p>説明は以上になります。よろしく申し上げます。</p>
福田会長	<p>事務局どうもありがとうございました。</p> <p>評価シートの様式を変更したいという提案でございます。何かご意見、ご質問等ございましたらお受けしたいと思えます。いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>宮島委員、どうぞ。</p>
宮島委員	<p>宮島です。</p> <p>まず、変更後の事業内容ですが、これは計画内容のことを言ってますか。</p>
福田会長	<p>宮島さん、すみません。</p> <p>どこについてご指摘いただいているのか、もう一回教えてもらっていいですか。</p>
宮島委員	<p>変更後の事業内容ですが、これはプランのところに書いてありますので、計画内容という意味ですか。事業内容というのは計画内容のことを言っているのでしょうか。</p>
福田会長	<p>計画で定めた各事業の事業内容をそこに記載しているかと思いますが。</p>
宮島委員	<p>私はその上の部分といいますか、ワンランク上のものと捉えていて、ここでやる計画は何だということかと理解したのですが。私からすると、事業内容に書いてあるのは、本当にこの事業そのものの内容に見えるのです。つまり、事業に対しての実行計画という部分ではないように思えるのですが、どうですか。</p> <p>しかもこの書き方ですが、私としては、ここで何をするかという計画については、こういう文章的な書き方よりも、もう少し分かりやすく、箇条書きにすべきではないかと思うのです。</p> <p>要するに、事業を実際に毎年やっていくのですが、その計画内容としては読めない気がしているので、どう理解したらいいだろうかと思っているのです。ここは、私は計画内容を書くべきだと思っていて、しかも、こういう書き方ではなくて、具体的な箇条書きになっていたほうがもう少し分かりやすいのではないかと思うのです。そうしないと、例えば後で、その計画に基づいて事業を実施するわけですが、それに対して分析・評価を行ったときに、なぜできなかったのかを分析することができないのではないかと。基本的にはPDCAを回そうという形の書き方になっていて、P l a n、D o、C h e c k、A c t i o nと、各々きちんと分けられて分かりやすくはなっているのですが、計画のところは分かりにくいように私は思えるのですが、いかがでしょうか。</p>
福田会長	<p>なるほど、分かりました。プランのところですね。どうプランされているのかが分からないと、その後の評価が難しだろうと。今の形でいきますと計画のところは上がっている事業内容はまさしく事業内容であって、どのような事業です、という説明がしてあるだけなので、その事業をどう計画立てているのかが分からない、あるいは、分かりにくい記述になっているというご指摘という理解でよろしいですか。宮島さん。</p>
宮島委員	<p>そうです。</p>

福田会長	よく分かりました。ありがとうございます。 事務局、この点いかがでしょうか。
こども政策課 白波瀬課長代 理兼政策係長	こども政策課の白波瀬です。 今、変更後の事業内容欄につきましては、計画に位置づけられている事業そのものの内容になっておりますので、委員のおっしゃったような内容となるよう、検討させていただきたいと思います。
福田会長	事務局、どうもありがとうございます。 ここの書きぶりについて少し工夫がいるということだと思っております。事業は、例えば今回例に挙がっているものでいくと、「母子健康手帳の交付、妊婦面接・相談」というのが事業です。それをどういった形で展開するのかについての具体的な中身がプランです。そこが事業内容欄のところ、もしかしたらここの項目は事業内容と書かないほうがいいのかもかもしれません。要するに、どんな形で的確に交付しようとするのか、妊婦面接や相談をするときにどんな計画を立ててやるのかが書いてあって初めて、できたか、できなかったかが見えてくると。宮島さん、そんなイメージですか。
宮島委員	はい、そうです。
福田会長	だんだん分かってきました。宮島さんのご指摘は、まさしくいいポイントをついてくださっていると思います。今のままで行くと件数が多かったとか、少なかったとか、それだけになってしまうので、何で多かったのか、何で少なかったのかが、評価の軸に入るためには事業内容といいますか、事業計画のところ、この母子健康手帳の交付から、面接・相談の事業をどうしますかというところです。そこを少し箇条書きで結構ですので、今年の工夫、今年の計画というものを挙げていただくと評価の段階で、それができたのか、できなかったのか、できなかったのであれば次年度どうするのか、そういった形でPDCAを回していけるのではないかと。そういうご指摘かと思えます。 宮島さん、私はそのように理解したのですが、よろしいですか。
宮島委員	はい。私、毎回、言葉が足りなくて自分の思いがあり過ぎるのかと思うのですが、すみません。
福田会長	いえ、素晴らしいご指摘だと思います。事務局には、これからもう一層、計画段階でのプランを練っていただく必要があるかと思うのですが、実はそれは練られていることだと思っております。事業を展開するに当たって、資料の例であれば、そこに切れ目のない支援に努めますと書いてありますので、具体的にどうやったら切れ目のない支援ができるのかを計画立てておいてもらって評価ができますよと、それがAか、Bか、Cかなんだと、それが次の年につながっていくと。 そういったイメージですか。
宮島委員	はい。
福田会長	ありがとうございます。 ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。 この点につきまして、宮島委員から貴重なご意見を頂戴したと思いますが、ほかにご意見あれば頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。ご感想なども含

	<p>めてで結構だと思います。いかがでしょうか。</p> <p>堀田委員、よろしくお願いします。</p>
堀田委員	<p>こんばんは、よろしくお願いします。</p> <p>先程のご説明で、第4期の施策を見ているのですが、前までは事業概要という名称でしたよね。その同じままで、項目名が事業概要から事業内容に変わりましたが、それは何か意図はあるのですか。内容的には全く一緒じゃないですか。概要と内容、先程言われたこととも関係あるかもしれないですが、今までは事業概要と表されていて、今回は事業内容ということです。</p> <p>単純な質問で申し訳ないのですが、そこにどういう意図があるのかお聞きしたいと思いました。よろしくお願いします。</p>
福田会長	<p>どうもご指摘ありがとうございます。</p> <p>事務局、いかがですか。</p>
こども政策課 白波瀬課長代理兼政策係長	<p>こども政策課の白波瀬です。</p> <p>変更前の項目は、事業概要となっているのですが、概要ではなくかなり詳細な内容が入っておりますので、名称を実態に合わせさせていただいたところです。</p> <p>以上です。</p>
福田会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>堀田委員、よろしいでしょうか。</p>
堀田委員	<p>ありがとうございました。</p>
福田会長	<p>ご指摘ありがとうございます。</p> <p>他いかがでしょうか。ご意見頂戴したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>宮島委員がご指摘いただいた、事業内容のプランの部分ですが、もっと箇条書きで結構ですので、ここに挙げていくと、PDCAサイクルを回していくことがかなり現実のものになってくるのかなと思います。事務局、そこを一点修正していただく方向でご検討していただくことは可能でしょうか。</p>
こども政策課 白波瀬課長代理兼政策係長	<p>こども政策課の白波瀬です。</p> <p>いただいたご意見を踏まえまして、内部で検討したいと思います。</p> <p>以上です。</p>
福田会長	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>具体的にどう変わったのか、今後すぐに確認させていただくチャンスはなかなかないですが、先ほど事業概要が事業内容に変わっただけではないものに、次年度以降計画立てていただけると確認させていただきましたので、それで進めさせていただければと思っております。</p> <p>他よろしいでしょうか。</p> <p>(質問者なし)</p> <p>どうもありがとうございます。</p> <p>貴重なご意見本当にありがとうございます。それでは、2つ目の案件についてはここまでとさせていただきたいと思います。</p> <p>次に、会議案件の3番目でございます。「答申書(案)の作成」につきまして、</p>

	事務局から説明をお願いいたします。
こども政策課 白波瀬課長代 理兼政策係長	<p>こども政策課の白波瀬です。</p> <p>答申書の作成につきましてですが、茨木市こども育成支援会議条例第2条に基づき、昨年(令和3年)の第44回の育成支援会議にて、審議会に「諮問」をさせていただいております。次世代育成支援行動計画その他の事項等につきまして、10月、11月、そして今回とご審議いただきましたので、そのことにつきまして、結果も含め「答申」をお願いしたいと考えております。</p> <p>説明は以上になります。</p>
福田会長	<p>事務局、どうもありがとうございました。</p> <p>先程ご説明がありましたように、第44回のこども育成支援会議で、市から諮問を受けて、これまで審議を行ってまいりました。審議の結果、子ども・子育て、若者支援にかかる市民ニーズ等を十分考慮しながら、第5次の茨木市総合計画のまちの将来像の一つである「次代の社会を担う子どもたちを育むまち」の実現に向け、計画が着実に推進されていると考えております。それを踏まえた内容で答申を行っていききたいと、私としては考えておりますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、基本的には計画が着実に推進されているという内容で答申書については事務局と私で調整のうえ作成させていただきますので、その点ご一任いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。それでは、本日の案件は以上となります。</p> <p>今後のこども育成支援会議の日程等について、事務局からお願いいたします。</p>
こども政策課 白波瀬課長代 理兼政策係長	<p>こども政策課の白波瀬です。</p> <p>次回のこども育成支援会議ですが、緊急の案件等がなければ、今年度の開催は以上とさせていただきます。47回、次回の育成支援会議は、令和4年の夏以降に開催させていただきたいと考えております。</p> <p>委員の皆様には案件が決まり次第、日程調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、皆さんにお願いしております、委員の任期ですが、令和5年3月31日までが任期となっておりますので、来年も引き続き皆様をお願いしたいと考えております。</p> <p>ただ、各団体、組織の中で役員等の改選があるなど、委員を変更される場合もあるかと思っておりますので、その際は解職、委嘱の手続きをさせていただきます。会議終了後、後日でも結構ですので、メール等でその旨お知らせいただければと思います。後日、変更手続きの書類を郵送させていただきます。手続きを進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局からの連絡等は以上になります。</p>
福田会長	<p>事務局、どうもありがとうございました。</p> <p>今日の会議は、ここまででございます。</p>

<p>以上をもちまして、第 46 回のこども育成支援会議を終了させていただきたい と思います。ご協力、本当にどうもありがとうございました。 以上でございます。</p>
---